

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62-29568

⑪ Int. Cl. 1

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和62年(1987)2月23日

F 28 D 15/02

1 0 4  
1 0 2

C-7380-3L  
Z-7380-3L

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 ヒートパイプ

⑮ 実 願 昭60-120819

⑯ 出 願 昭60(1985)8月8日

⑰ 考 案 者	伊 藤 雅 彦	東京都江東区木場1丁目5番1号	藤倉電線株式会社内
⑰ 考 案 者	馬 渡 恒 明	東京都江東区木場1丁目5番1号	藤倉電線株式会社内
⑰ 考 案 者	坂 谷 益 司	東京都江東区木場1丁目5番1号	藤倉電線株式会社内
⑰ 考 案 者	望 月 正 孝	東京都江東区木場1丁目5番1号	藤倉電線株式会社内
⑰ 出 願 人	藤倉電線株式会社	東京都江東区木場1丁目5番1号	
⑰ 代 理 人	弁理士 竹 内 守		

⑰ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 鉄系の密閉されたパイプの内壁にウイックが設けられ、作動液として水が封入され、一端を蒸発部、他端を凝縮部、中間を断熱部としたヒートパイプにおいて、少なくとも凝縮部及び断熱部のパイプの内壁に水素と反応し易い金属化合物を設けてなることを特徴とするヒートパイプ。
- (2) 水素と反応し易い金属化合物がメツシユ状又は繊維状のウイックとしてパイプの内壁に装着

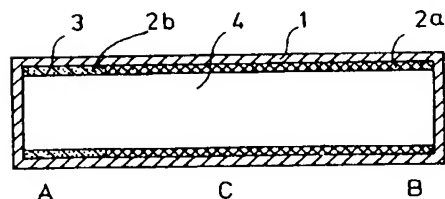
されてなる実用新案登録請求の範囲第1項記載のヒートパイプ。

図面の簡単な説明

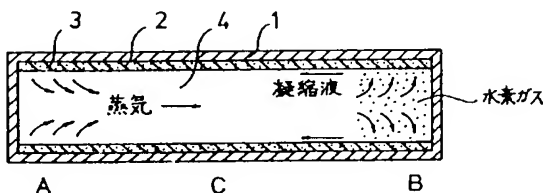
第1図は本考案によるヒートパイプの縦断面図、第2図は従来例のヒートパイプの構造及び作動原理を説明するための縦断面図、第3図は本考案と従来例の比較テストのグラフである。

1:パイプ、2、2a、2b:ウイック、3:作動液、4:空間、A:蒸発部、B:凝縮部、D:断熱部。

第1図



第2図



実開 昭62-29568(2)

第3図

